

今後の健都に期待すること

2020年2月
摂津市薬剤師会

1. 現在の健都の整備状況に対する所感

岸辺駅前への国立循環器病研究センターならびに市立吹田市民病院の移転を受け、複合商業施設ならびに企業・大学の研究施設、サテライトオフィスなどのインフラ整備が充実したと認識している。その中において、摂津市薬剤師会として以下のような課題認識を持ち、その解決に向けた準備を開始している。

課題1. 現在までも、行政ならびに医療機関は、連携しながら健康都市づくりの取り組みを継続してきた。しかしながら、両市にまたがる積極的な取り組み、ならびに北摂近隣地域との連携については、発展していない。

課題2. 地域包括ケアシステムの構築を進めているが、医療・介護関係者を中心とした連携となっている。包括ケアシステムの受給者である地域住人のニーズは、治療のみならず未病・予防・再発抑制に至るまで幅が広く、日常を支える産業界との取り組みが不十分である。

課題3. 健都を成功に導くサービス提供側の課題認識として、未病・予防・再発抑制等に至るまでの幅広い「ヘルスケア産業の創出」を掲げている。SDGs < Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) > の精神として、行政と産業界の緻密な連携が必要であると認識している。

2. 摂津市薬剤師会の取り組みの方向性

1) 健都未来カンファランスの設立

摂津市・吹田市の両市にまたがる積極的な連携を企図し、「健都未来カンファランス」を発足させた。両市の医師会・歯科医師会・薬剤師会を中核メンバーとするが、市民や市民団体・各企業、まちづくりに賛同する各企業、関係省庁などとも協力・連携しながら企画・推進をはかる。

第一回のカンファランス（講演会）を2020年3月7日（土）に国循講堂にて開催する。代表世話人である猪原匡史先生（国立循環器病研究センター 脳神経内科部長）と仁賀建夫先生（経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業研究官）から講演いただく。

第二回のカンファランスは2020年6月27日(土)を企画している。

2) 予防・未病・再発抑制に向けた活動強化

摂津市薬剤師会では摂津市と協力し、市民向けの「健康フェア」を開催している。薬剤師会の在籍する全ての薬局が企画・運営し、医師講演会・薬剤師健康相談・体力測定・A G E s や血糖値等の各種測定・行政ブース・企業からの製品サービス紹介など多岐にわたるテーマを提供し、毎回多くの住人が参加している。昨今ではフラダンス発表会や保育園園児による発表会など、幅広いコミュニケーション構築の場として機能している。

今後は予防・未病・再発抑制により焦点を当てた活動を展開するとともに、健都との連携も視野に入れた活動としていく。

3) 他地域や他産業との連携～健幸長需の実現～

健都未来カンファランスをより発展させるため、大阪府下の地域や周辺府県との連携をはかる。特に、予防・未病・再発抑制に関係する各種セラピー・医療介護施設・食や運動関連事業などとの連携をはかる。摂津市・吹田市の両市民が他地域と交流しながら、両市には無いインフラ・サービスを受けられる体制とする。健幸長需の実現のまちづくりをめざす。

4) 大阪万博での情報発信

当面の取り組みを皮切りに、2025年に開催される大阪万博「いのちかがやく未来社会のデザイン」での「健都からの全世界への提言」を創出すべく活動する。

(以 上)